d4PDFデータ（全球・60km）のバイアス補正

- AGCM出力値：d4PDFの過去実験（HPB）と過去非温暖化実験（HPB_NAT）の日別出力値。
 - ※将来4°C昇温実験のバイアス補正は今のところ予定していない
- 期間：いずれの実験も60年間（1951-2010年）
- アンサンブル数：いずれの実験も100（計200アンサンブル）
- バイアス補正手法：CDFDM法（Cumulative Distribution Function-based Downscaling Method, Iizumi et al., 2011, *J Geophys Res*）
 - ※ 0.5625° から0.5° に距離逆数加重平均で空間内挿してからCDFDM法を適用
- 日別気象の参照データ：S14 Forcing Data（S14FD, Iizumi et al., 2017, *J Geophys Res*）の日別値、参照期間は40年間（1961-2000年）
- 要素：10変数。日平均・最高・最低2m気温、降水量、相対湿度、10m風速、下向き短波・長波放射量、地上気圧、比湿
 - 全雲量から経験式により下向き短波・長波放射量を推定し、バイアス補正
 - バイアス補正後の相対湿度、平均気温、地上気圧から比湿を計算